

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学校名	恵那市立恵那東中学校		
実施期間	平成26年10月11日(土)～11月15日(土)		
実施概要	①地域や保護者と働くPTA資源回収 10月11日 ②地域に出て働く職場体験学習 10月21・22・23日 ③保護者に公開の授業参観日 11月15日		
実施内容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来校者数	保護者	387人	計 446人
	地域関係者	59人(59の事業所)	
実施状況	○生徒とその保護者、さらには地域住民が参加して資源回収を実施した。中学生が各地区で資源を回収し、積極的に地域の方とのかかわるよう配慮した。 ○2年生が職場体験学習を3日間実施し、地域の59箇所の事業所に分かれて働く体験をした。地域の事業所の方とのかかわりの中で、職業観・勤労観を培うようにした。 ○保護者に授業公開を行い、生徒や学校の様子を公開した。また各学年や学級で懇談会を開き、保護者の意見などを聞く場をもった。 ○家族とのかかわりをより多くすることを意図し、PTAの事業として参観日当日を「お弁当の日」とした。生徒が家族と相談した上で各自工夫してお弁当をつくり持参した。		
成果及び課題	○地域の方や保護者とのかかわりをより多く生み出すことにより、様々な方に支えられながら生活していることを生徒一人一人に実感させることができた。 ○職場体験学習では、職場の方とのかかわりの中で、職種についてだけでなく、職場での実体験を通して、働くことの意義や礼儀等を深く学ぶことができた。 ○「お弁当の日」の実施について、PTAの研修委員会が中心となり「お弁当の日」に向けての取り組み方についての通信を発行する等、積極的に家庭に働きかけた。お弁当を作るにあたって家族と相談した結果、何を準備しなければならないかを楽しく周囲に話している生徒の姿がみられたことから、実施の目的等を事前に保護者に理解していただくことで、家族の絆を深め、家族に対する感謝の念を抱くことにつながる時間をそれぞれの家庭でつくりだすことができた。		